

フランチャイズの隠れた市場：プエルトリコ

リゾート地と知られるプエルトリコが実はアメリカの一部であり、グローバル化を目指すフランチャイズにとっても巨大な市場潜在力を秘めている事実にとりまします

プエルトリコの
知られざる一面

巨大な経済力



米国で6番目の
大都市



米国の一部でありながら同時に国際都市

多くの企業が市場拡大を
求めてプエルトリコに進出



Sears (9 ロケーション)

J.C. Penny

Costco

Sam's Club (5)

K-Mart (22)

Wal-Mart

Walgreens (45)

Radio Shack (54)

Foot Locker

Baskin-Robbins

Pep Boys

Blockbuster Video

米国トップ 10 企業がプエルトリコに既に 450 ロケーションをオープンしています。ご存知でしたか。しかも業績を伸ばす企業が多く、ウォルグリーン（米国の薬局最大手）は現在の 45 店舗に加え更に 37 店舗の新設を決定しています。理由は全て同じ、プエルトリコ市場の潜在力にあります。リゾート地として有名ですが、実は観光収入は全経済の 6%に過ぎません。

米国の大手チェーン企業はさすがに実情を十分理解し始めていますが、プエルトリコが外国ではないとか、観光資源以外には見るべきものはないと考える企業が未だに多いのです。他のカリブ諸島と違い、米国領ですから政情も経済も安定しています。それでいながら情報不足、あるいは誤解の為に進出を躊躇う、あるいはそこに考えがおよばないのです。

日本からの進出も当然可能です。本サイトの「Franchise Events」でも紹介しているように、来年 1 月に開催されるフランチャイズ展示会の視察、もしくは展示は意外な成果を生むかもしれません。